



イヴオンヌ・レイナー作品集

# YVONNE RAINER

## Film Collection



■上映作品

- 『パフォーマーたちの人生』Lives of Performers (1972)  
『Film About a Woman Who...』Film About a Woman Who... (1974)  
『クリスティーナ、トーキング・ピクチャーズ』Kristina Talking Pictures (1976)  
『ベルリンからの旅/1971』Journeys from Berlin/1971 (1980)  
『マörder・アンド・マörder』MURDER and murder (1996)

3.11 [水] - 3.14 [土] (4日間)

会場: アテネ・フランセ文化センター

イヴオンヌ・レイナーはジャズダンス・シアター創設メンバーとして、日常動作を取り入れた革新的な手法でダンス表現を拡張し、1972年以降は映画でも女性と身体を主題に先駆的  
作品を手掛けてきました。  
本特集では、デジタル復元による長編5作品を通して、ダンスや  
実験映画、フェミニズムの領域に新たな地平を拓いた彼女の功  
績を紹介します。

# イヴォンヌ・レイナー作品集

YVONNE RAINER  
Film Collection

イヴォンヌ・レイナーの野心的な活動はダンスだけにとどまらず、同時代のフェミニスト映画運動と共鳴しながら1972年には初長編映画を作った。以降女性と身体に焦点をあて、先駆的な作品を次々と発表している。しかし、日本国内ではダンスの文脈で取り上げられることは多々あっても、フェミニスト映像作家としての側面は十分に紹介されてこなかった。

本企画では、デジタル復元で蘇ったレイナーによる長編作品5作品を通じて、既存の形式やフェミニズムの実践に対する固定観念を覆す革新的な映像表現を展開したレイナーの手腕に焦点を当てる。ダンス、パフォーマンス・アートの領域だけでなく、実験映画においても表現の新しい地平を切り拓いたレイナーの功績を辿る機会としたい。

## パフォーマーたちの人生 | *Lives of Performers*

1972年 | 90分 | デジタル復元版

監督・脚本：イヴォンヌ・レイナー／撮影：バベット・マンガルト  
出演：ジェイムズ・バース、ジョン・アードマン、エップ・コトカス



レイナー初の長編映画。パフォーマンスのリハーサルや写真などを挿入しつつ、三角関係に陥る男女の恋愛関係をめぐる物語が断片的に描かれる。この映画は、レイナーのダンスの世界からアヴァンギャルド映画への転向を告げると同時に、「女性の物語」やメロドラマに対する生涯にわたる関心の始まりでもある。

## Film About a Woman Who...

*Film About a Woman Who...*

1974年 | 105分 | デジタル復元版

監督・脚本：イヴォンヌ・レイナー／撮影：バベット・マンガルト  
出演：デンプスター・リーチ、シャーリー・ソファア、ジョン・アードマン



『パフォーマーたちの人生』に続くレイナーの長編映画第二作であり、今なお最高傑作と評されることの多い記念碑的作品。性的な不満の背後に巨大な怒りを秘めている女性の物語を、メロドラマの慣習を巧みに転覆させながら、緻密に構成された映像、画像、そしてテキストを交えて描き出す。

## クリスティーナ、トーキング・ピクチャーズ

*Kristina Talking Pictures*

1976年 | 92分 | デジタル復元版

監督：イヴォンヌ・レイナー／撮影：バベット・マンガルト、ロジャー・ディーン  
出演：バート・バー、フランセス・バース、ジェイムズ・バース



レイナーは本作で主流映画の語りの慣習に真っ向から異議を唱え、解き放つ試みを大胆に行った。振付師を目指してニューヨークにやってくる女性ライオン使いの物語を描くこの映画は、コラージュ、ナラティブ、ドキュメンタリーを融合させながら、観客を濃密な思考と映画そのものへの批評的視点へと向かわせる。

○一般=1800円 ○シニア・学生・障がい者=1500円

○アテネ・フランセ文化センター会員=1300円 ○5回通し券=6000円

(限定30枚・各作品1回鑑賞・複数人使用不可)

・当日券のみ／先着順 ・チケットは1回上映開始の30分前から、当日上映分を販売します。

お問い合わせ・会場 | アテネ・フランセ文化センター 東京都千代田区神田駿河台2-11 アテネ・フランセ4F

TEL. 03-3291-4339 (13:00-20:00) | [infor@athenee.net](mailto:infor@athenee.net) | <https://athenee.net/culturalcenter/>

## ベルリンからの旅 / 1971 | *Journeys from Berlin/1971*

1980年 | 125分 | デジタル復元版

監督：イヴォンヌ・レイナー

脚本：ジョン・エルス、ウォルフガング・セン、マイケル・スタインク、シンキチ・タジリ、カール・タイテルバウム

出演：アネット・マイケルソン、ヴィト・アコンチ、エイミー・トービン



レイナーの4作目の長編映画。1976年から1977年にかけて西ベルリンに住んでいた経験から着想を得たもので、国家権力、抑圧、暴力、そして革命について大胆でコラージュ的な瞑想の極致。美術・映画批評家のアネット・マイケルソンによるパフォーマンスは、9ヶ月間にわたってレイナーによって細かく振り付けされた。

## マダー・アンド・マダー | *MURDER and murder*

1996年 | 113分 | デジタル復元版

監督・脚本：イヴォンヌ・レイナー／撮影：スティーヴン・カツミアスキー

出演：ジョアンナ・マーリン、キャスリーン・チャルファント、キャサリン・ケルナー



レイナーの最後の長編映画は、彼女自身の経験に深く根ざした、最も私的な作品のひとつ。1990年代初頭に受けた乳がんの診断という試練と、それに続くレズビアンとしての恋愛の芽生えがこの作品の着想となっている。レズビアン、乳がん、老いをめぐる、ダークでユーモアに満ちた思索。

上映スケジュール ・各回入れ替え ・全作品日本語字幕付き

3月11日(水)

17:05 『パフォーマーたちの人生』(90分)

19:00 『Film About a Woman Who...』(105分)

3月12日(木)

16:30 『クリスティーナ、トーキング・ピクチャーズ』(92分)

18:30 『ベルリンからの旅 / 1971』(125分)

3月13日(金)

14:30 『マダー・アンド・マダー』(113分)

16:50 『パフォーマーたちの人生』(90分)

18:45 『Film About a Woman Who...』(105分)

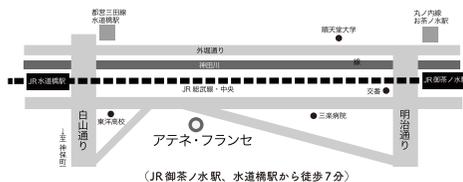
3月14日(土)

13:00 『クリスティーナ、トーキング・ピクチャーズ』(92分)

15:00 『ベルリンからの旅 / 1971』(125分)

17:30 『マダー・アンド・マダー』(113分)

+トーク：中島那奈子(ダンス研究者、ダンスドラマツルク)、菅野優香(映画研究者)、司会：高崎郁子(映画研究者)



ATHÉNÉE FRANÇAIS  
CULTURAL CENTER  
アテネ・フランセ文化センター